

## 令和5年度 議会報告会報告書

委員会名	総務常任委員会		
開催日時	令和6年1月31日（水） 15：00～16：30		
開催場所	南館4階大会議室		
議員参加者	田原議員、中村議員、原議員、平野議員、大原議員、福井（利）議員、寺前議員		
市民参加者	10人（受付人数）	Zoom参加者	5人（最大）
所要時間	1 開会 2 共通テーマの説明	15：00～15：20	
	3 委員会ごとのテーマの説明	15：20～15：30	
	4 意見交換 5 閉会	15：35～16：35	
意見交換	出された意見		回答
	<p>① 宮川幼稚園で子どもフェスタを実施。イベントには同じ顔ぶれが多いが、子どもフェスタ参加者は増えている。私はただの一般の自治会員で、自治会連合会に参加していないが、自治会では縦のつながり、横のつながり、市議会議員を交えて、議会のこともわかるし要望も聞いてもらえる。他の自治会はどうしているのか知りたい。</p> <p>独身で年齢も若いので、自治体の存在も知らない。子育てフェスタもしらない。SNSを利用することが多い。市役所のHPは見えていない。インスタなどSNSを見ている。イベントの告知は塾、習い事など民間の習い事の場所にチラシを置かせてもらおうと、子育て世代が目を通してくれると思う。ほかの方の意見、回答がとても勉強になった。</p>		<p>① いろんなイベントをしているが、増やす。継続する。つなげるのにどういう工夫があるのか。</p> <p>浜町自治会は20年前メンズクラブが見守り活動を始めて他地域に広がったと認識している。芦屋浜の地元でも若者参加の課題は同じことを感じている。ハロウィン、もちつきなど実施しているが、転入したお子様のいる家庭に必ず声掛けをしている。個人情報の問題もあるが若い世代に声をかける。そして定期的に役員を交代している。</p> <p>どこの自治会でも共通の課題は、担い手不足。呉川町では会計を長い間やっているかたが煩雑な作業を毎日している。やりたがる人がいない。そのため書類を整理。数字だけ入れると自動で作成できるものを作り、他の方が引き受けてくれ、2年でまた交代できた。仕事の負担を軽くする。デジタルを入れてほしいしやすくする仕組みをつくる。</p>

② アンケートの報告で一番知りたいのは地域活動に参加したくないという理由。ITを使った情報発信は、逆にシニアが取り残される。若者の参加とシニアの参加両方が課題。今後災害があるとシニアが取り残される。情報取得にはスマホが避けて通れないが、使えないと情報弱者。高齢者にスマホを貸与し、最低限使いこなすまで支援をしてはどうか。シニアを取り残さないための対策が必要では。

③ 担い手不足は、自治会だけではなく、趣味などのグループでも課題。高齢社会はマイナスのイメージだが、元気な高齢者は引っ張っていく力があるのでは。しっかりした元気な老人のパワーを活かして、

口コミなどの民間のアプローチも有効。

② 地域のイベント、過半数の方は興味を持っている。一方積極的でない方もいる。分析が必要。

私は今年40歳、同じ年代と話をする中で自治会活動はしていない。仕事、子育て、家事で余裕がない。浜町の子どものイベントのように、新しいイベントがあれば行きたいというニーズがある。市がやっているイベントはお金がかからないし、近いのでアンテナを張っている。小学生ぐらいまでかな。余裕がないから役はできないという一方で、興味があるイベントにはアンテナを張っている。土日の子育てイベントだったら参加したい。実際やっても気づかない。イベントには来るが自治会活動にはつながらないかもしれないけど地域イベントに参加する回数を増やしていき、地域活動につなげることも必要かと思う。

自治会がなぜあるのかということを確認して、イベントをすることで、地域がより住みやすいところになることが必要。安心安全の最低限のことは市がサポートする。山手に住んでいる。地縁の人が多かったが最近引っ越ししてきた人にも声を掛け、だんじりがあるので、だんじり関係から声掛けを行うなどイベントを地域の担い手づくりに活用。団体の目的、趣旨を明確にすることが大切。

担い手を作るには声掛けが大事。スマホの貸与はいいアイデア。スマホサポートの講座、ある程度スマホが利用できるまで期間限定で貸与するなど、先進事例も含めて研究したい。

③ 市は防災に力を入れているといいながら、自主防災組織に頑張ってくれと言いながら丸投げになっているのではと感ずることがある。地域に溶け込んで市内のいい事例を市が地域に提示することが必

20, 30, 40代の場に出ていこうという行動も必要。

西藏、浜町各1200戸に、集会所が1か所しかない。適切なのか。交流ができる場が必要。行政の方から課題が出たときに「地域でやってください」行政の丸投げのケースがある。防災訓練で、合同訓練のいい事例があれば、もっと地域に広めるような中核的な機能を担ってほしい。それを行政にいうと、地域でやってほしいと言われる。

浜町と同じように役員が高齢化。高齢者が多い。コロナでできなかった桜祭り、盆踊り、ラジオ体操、バス旅行、防災訓練もするようになったが、役員が全然足りない。自治会、老人会兼任している。高齢化、会長も高齢化で新しく変わったが団塊の世代が頑張っている。50, 60代がいない。70代はやりきれない。子どもが少ない。イベントするときは若者が集まるが、役をしないといけないと思うのでしてもらえない。皆の意見を参考にしたらいいと思うが、高齢者はIT関係ができない。回覧板が一番高齢者には適当。若者にはIT関係を使って連絡をしないといけないと感じた。

- ④ 2週間前に芦屋にきた。自治会に入会している割合は？そういう話を聴けると思った。引っ越ししてきて市から自治会の案内がない。どうやって自治会に入るのか。自治会に入っていない人はどうやって情報を得るのか。市役所を回って情報を集めるしかない。議会報告会の案内も市役所を回って情報を集めている時に知った。自治会の加入率や子供会、老人会の現状などを教えてほしい。

要だ。新しい仕掛け、仕組みも必要だが、併用して、積極的に参加している元気な高齢者の方、長くやってくれていた方にも継続して声掛けする。若者も一定数いないといけない。できる地域活動は小分けにして分担し若者も活動しやすいように工夫する。地域ごとに特性があるが、受け皿づくりのサポートも市が行うことも必要。

打出小穂町も防災が活発。自治会と子ども会が連携して協力してイベント。バス旅行を子どもが参加できる日で実施する。こども会の行事に自治会がサポート。LINEグループを作成し協議しやすい環境づくり。今後は何町かが集まってイベントができればいいと思う。

- ④ 古いデータになるが、自治会の加入率は、8割ぐらいの自治会で7割ほどの住人が加入していると認識している。市から自治会の案内が転入してきた住民にないとの事なので案内することを議会からも市に要請します。自治会連合会が自治会加入の手引きを作っている。それを案内することになっている。

#### 最後の感想

寺前：PTAの役員経験も生かして取り組む。  
福井：隣の町の自治会がなくなった。行政でできることは進めていきたい。

		<p>大原：新しい枠組みをつくることも必要。</p> <p>平野：地域活動に対しての熱い市民の思いを受けて成果としてお返しできるように頑張りたい。</p> <p>原：お顔を見て貴重な意見を聴く機会をもっと作っていききたい。</p> <p>中村：テーマが大きいと感じたが、たくさんの意見を頂いた。今後の議会活動に生かしていききたい。できるところを行政に意見する。</p>
回答できなかった質問及び回答	<p>質問</p> <p>① 転入の際に配布される自治会パンフレットについて</p>	<p>回答</p> <p>① 転入時に配布する自治会連合会からの手引きは、2018年に発行したものがあつたが、現在改訂版を作成中であり、今年の4月にリニューアルしたものを配布する予定です。</p>
Zoom のコメント及び回答	<p>コメント</p> <p>① 地域活動の参加について、ハードルの低い活動の声掛けを行う。例えば市のさわやか収集のお手伝いを地域の市民がボランティアで行う。若い人も参加しやすい。</p>	<p>回答</p> <p>① 貴重なご意見ありがとうございました。</p>
総括	<p>全体としては、委員会として掲げたテーマ「市民が参加しやすく次代につながる地域づくり」について、参加者と活発に意見交換ができたように感じます。改めて、地域の役員確保（担い手不足）の問題、高齢化、若い世代の自治会参加促進などの課題が明らかになりました。一方、意見の中には、今後はデジタル化（SNS の活用など）や民間団体と協働することなども視野に入れてはどうか、とのご意見も頂きました。さまざまな角度から、地域の活性化に取り組んでいけるよう、頂いたご意見やご要望を、今後の議会活動に活かしていきます。ご参加頂き、ありがとうございました。</p>	
当日の写真		